

## カメラ駆動ユニット

### 取扱説明書

工事説明付き

品番 WV-PS154

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

### もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	3
各部の名前と働き	5
設置上のお願い	6
接続のしかた	7
テルックカメラを接続する	8
複数のテルックカメラに外部同期を かけて接続する場合	8
カラービデオモニター WV-CM148との接続例	9
データ通信機能を持った機器との接続例	9
ラックへの取り付けかた	10
仕様	11
保証とアフターサービス	裏表紙

取扱説明

工事説明



上手に使って上手に節電

このたびは、カメラ駆動ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

## 商品概要

本機はテルックカメラ専用のカメラ駆動ユニットです。4台までのテルックカメラに電源を供給します。また、同期信号を出力し、複数の装置間に同期をかけることができます。

データ通信にも対応しており、データ通信機能を持った機器（システムコントローラーなど）を接続してシステムを構築することもできます。

## 付属品をご確認ください

ラックマウント金具 .....	2	スイッチプロテクター .....	1
ラックアングル取付ねじ（M3） .....	6	取扱説明書（本書） .....	1
ラック取付ねじ（呼び径5タッピング） .....	4	保証書 .....	1

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

必ず販売店にご依頼ください。

### 異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

修理や点検は、販売店にご依頼ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 不安定な場所に置かない



禁止

落下などでけがの原因となります。

### ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 電源コード・プラグを破損するようなことはしない

( 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない )



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

## 電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

## 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

## コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を越えると発熱による火災の原因となります。

禁止

## ケーブルを傷つけない



重い物を載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき火災や感電の原因となります。

禁止

## 配線は正しく行う



ショートや誤配線により、火災の原因となります。

## ⚠ 注意

### 落とさない、強い衝撃を与えない



けがや火災の原因となります。

禁止

### 湿気やほこりの多い場所に設置しない



火災や感電の原因となります。

禁止

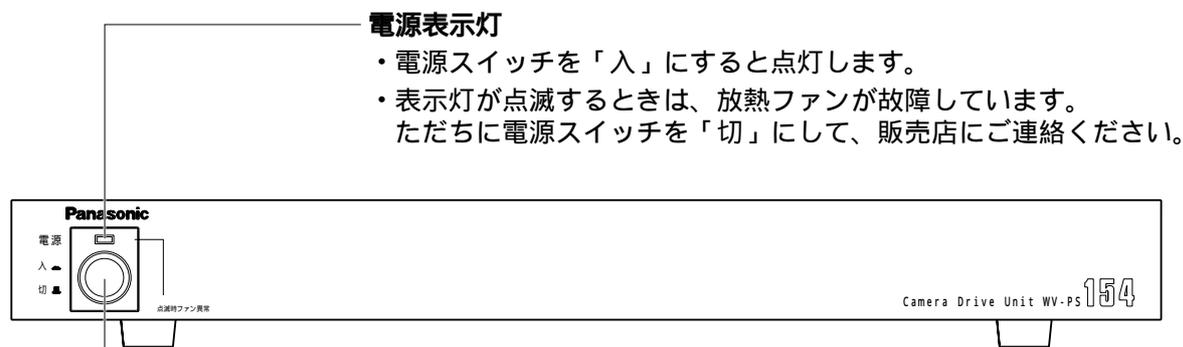
### 放熱ファンや通風孔をふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

# 各部の名前と働き



## 電源表示灯

- 電源スイッチを「入」にすると点灯します。
- 表示灯が点滅するときは、放熱ファンが故障しています。ただちに電源スイッチを「切」にして、販売店にご連絡ください。

## 電源スイッチ [電源 入/切]

- 電源スイッチを「切」にしても電源からは遮断されません。電源を遮断する場合は、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源ブレーカーをOFF（または「切」）にしてください。
- 長期間使用しないときは、電源スイッチを「切」にして、電源プラグをACコンセントから抜いてください。

## 使用上のお願い

### 表示について

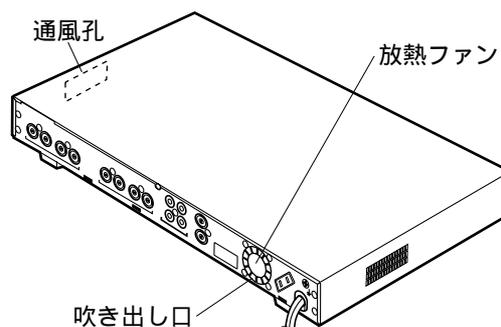
本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をご覧ください。

### 放熱について

内部に熱がこもると、火災や故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口や通風孔を壁やラック、布などでふさがないでください。ほこりなどで通風孔がふさがれることがありますので、定期的にお手入れをしてください。
- 放熱ファンは消耗品です。約30,000時間を目安に交換してください。放熱ファンが故障すると、電源表示灯が点滅します。

消耗品の交換は、保証期間内であっても有料となります。販売店にご依頼ください。



### お手入れについて

電源を切り、乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、よくしぼり軽くふいてください。

ベンジン、シンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。

# 設置上のお願い

---

## 電源について

電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニット (WU-L61、WU-L62、WU-L67など) を介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置 (電源プラグ) に容易に手が届くこと。
- (3) 接点距離が 3.0 mm 以上有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

## 設置場所について

- ・使用温度範囲は - 10° C ~ + 50° C、湿度90%以下です。調理室やボイラー室などへ設置するときは、温度や湿度が上がりすぎないようにしてください。
- ・直射日光の当たるところや温風の吹き出し口近くは避けてください。また、湿気やほこり、振動の多い場所に設置しないでください。
- ・設置するときは、本機の後面および側面を壁面から5 cm以上離してください。本機後面には放熱ファンがあり、側面には放熱のための通風孔があります。
- ・インターホンの近くに設置すると、映像やインターホンに雑音が入ることがあります。このようなときは、本機の設置場所または配線の位置を変えてください。

## ラックに取り付けるときは

必ずEIA規格相当のラック (奥行き 450 mm以上) をご使用ください。

取り付けかたは10ページをご覧ください。

## 接続・配線について

- ・カメラと接続するときは、本機の電源スイッチを「切」にしてから行ってください。電源スイッチを「入」のままカメラを接続するとカメラは動作しません。(接続誤り防止の回路が働きます)
- ・使用するケーブルの太さと長さを確認してください。  
同軸ケーブルの最大距離は、5C-2Vで500 m、3C-2Vで200 mです。これ以上延長すると映像が乱れたり、雑音が入ったりします。
- ・強度上の問題で、3C-2Vの同軸ケーブルを配管配線や空中配線に使用しないでください。断線する恐れがあります。
- ・次のような場所に設置 (配線) すると、映像が曲がったり雑音が入ることがあります。このようなときは、カメラケーブルを専用の薄鋼電線管に通して設置してください。本機を2台以上使用するときは、カメラ駆動ユニットごとに電線管を設けてください。
  - ① 電灯線に近づけて配線している
  - ② テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランスなどの近くで使用している (強い電界・磁界の近くで使用している)

## 本機後面のアース端子 (SIGNAL GND) を接地してください

接地しないと誘導ノイズを受ける恐れがあります。

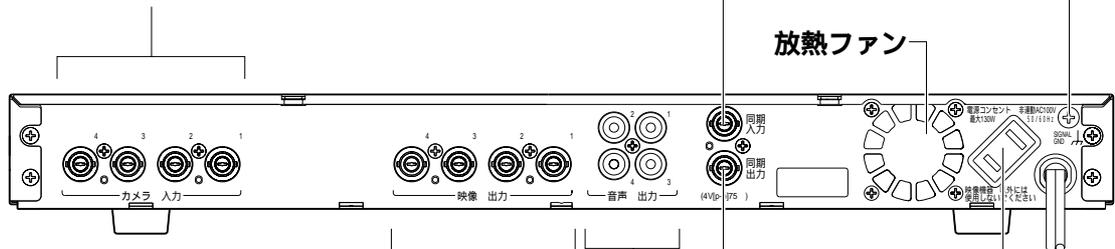
# 接続のしかた

## 同期入力端子 [同期入力]

外部同期信号を入力する端子です。  
他のカメラ駆動装置の同期出力端子と同軸ケーブル（BNCプラグ付き）で接続します。  
他の機器からのVS信号（1 V [p-p]）でも同期をかけることができます。

## カメラ入力端子 [カメラ入力 1,2,3,4]

テルックカメラの映像ケーブル（BNCプラグ付き）を接続します。



## 映像出力端子 [映像出力 1,2,3,4]

カメラからの映像信号を出力する端子です。  
ビデオモニターやフレームスイッチャーなどの映像入力端子と同軸ケーブル（BNCプラグ付き）で接続します。

## 音声出力端子 [音声出力 1,2,3,4]

カメラからの音声信号を出力する端子です。  
ビデオモニターなどの音声入力端子とRCAピンプラグケーブルで接続します。

## 同期出力端子 [同期出力]

外部同期信号を出力する端子です。  
他のカメラ駆動装置の同期入力端子と同軸ケーブル（BNCプラグ付き）で接続します。

## アース端子

[ SIGNAL GND ]  
他の機器とグラウンドレベルを合わせるときに使用する端子です。  
他の機器の SIGNAL GND 端子とこの端子を接続し、最終的に大地にアースします。

## 放熱ファン

## 電源コンセント

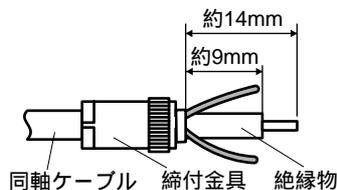
[ AC100 V、最大130 W ]  
他の機器へ電源を供給するためのコンセントです。（非連動）

## 電源コード

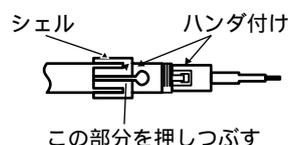
AC100V、50/60 Hzのコンセントに接続します。

## BNCプラグの取り付けかた

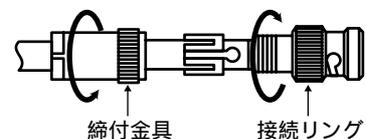
- ① 締付金具を同軸ケーブルに通して、ケーブル外被と絶縁物を切り取ります。



- ② シェルを挿入し、シールドを適当な長さに切ってハンダ付けします。ハンダ付け後、図の部分を外被に食い込むように押しつぶします。



- ③ シェルに接続リングをねじ込み、締付金具をスパナなどで固く締め付けます。



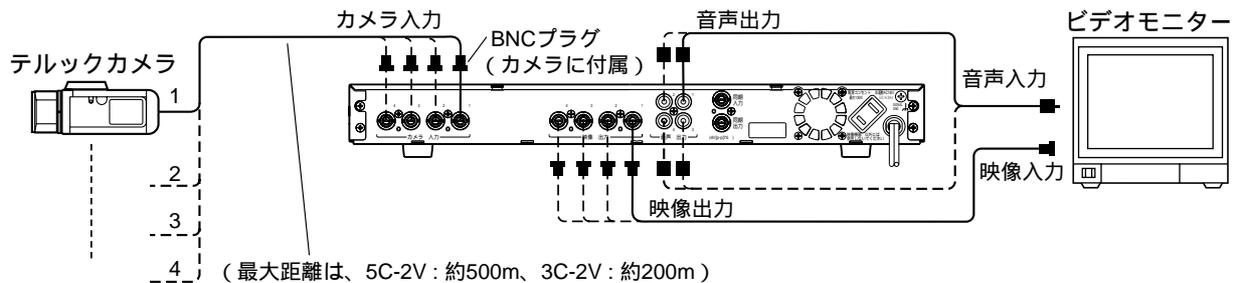
## メモ

- ・同軸ケーブル（BNCプラグ付き）、RCAピンプラグケーブルは別途ご用意ください。同軸ケーブルを中継する場合は、「同軸用中継接栓」が必要です。
- ・テルックカメラからの映像ケーブル（同軸）には、テルックカメラに付属されているBNCプラグを取り付けてください。

# 接続のしかた

## テルックカメラを接続する

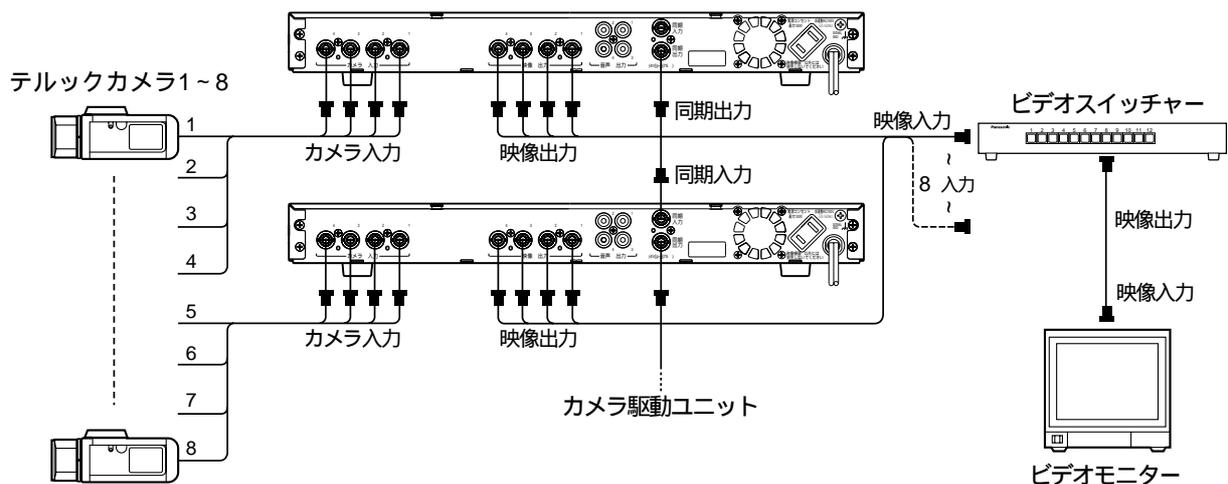
- テルックカメラを4台まで接続できます。カメラ入力端子1に接続したカメラの映像と音声は、映像出力端子1と音声出力端子1から出力されます。端子の番号を間違えないように注意してください。
- テルックカメラには、マイクロホンユニット（別売品）がないと音声機能が使用できない機種があります。詳しくは、テルックカメラの取扱説明書をご覧ください。



### メモ

本機の電源スイッチを「切」にしてからカメラを接続してください。電源スイッチを「入」のまま接続すると、接続誤り防止の回路が働きカメラは動作しません。

## 複数のテルックカメラに外部同期をかけて接続する場合



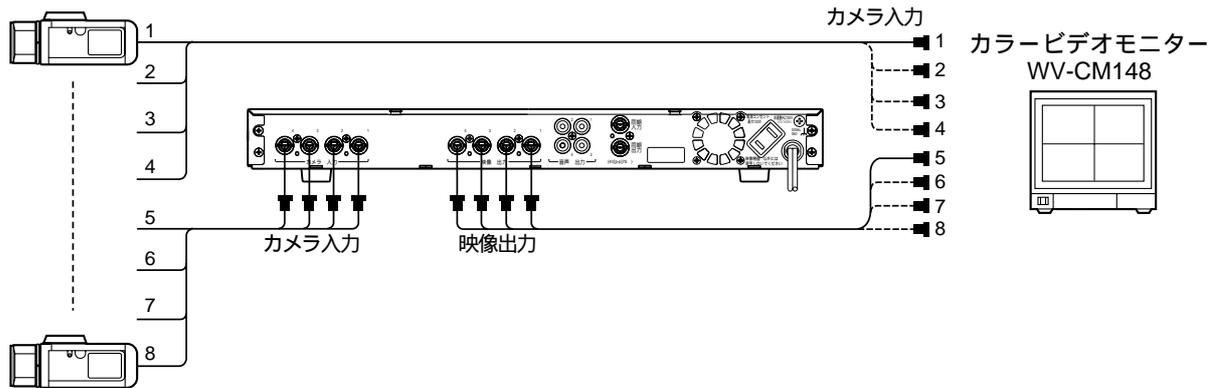
### 重要!!

- 必ず、各カメラ駆動ユニット（本機）の「カメラ入力1」端子にカメラを接続してください。カメラ入力1端子にカメラを接続しないと、同期信号が出力されず同期をかけることができません。

## カラービデオモニター WV-CM148との接続例

WV-CM148にはカメラ入力が8端子あり、カメラ入力1～4端子はテルックカメラを駆動するための電源を供給できます。カメラ入力5～8端子にもテルックカメラを接続するときは、本機を使用して次のように接続します。

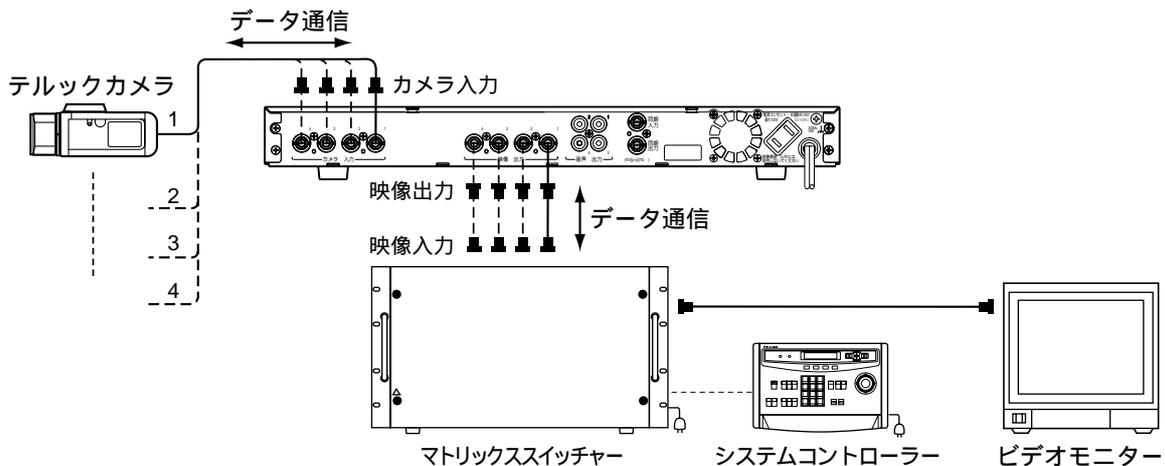
テルックカメラ1～8



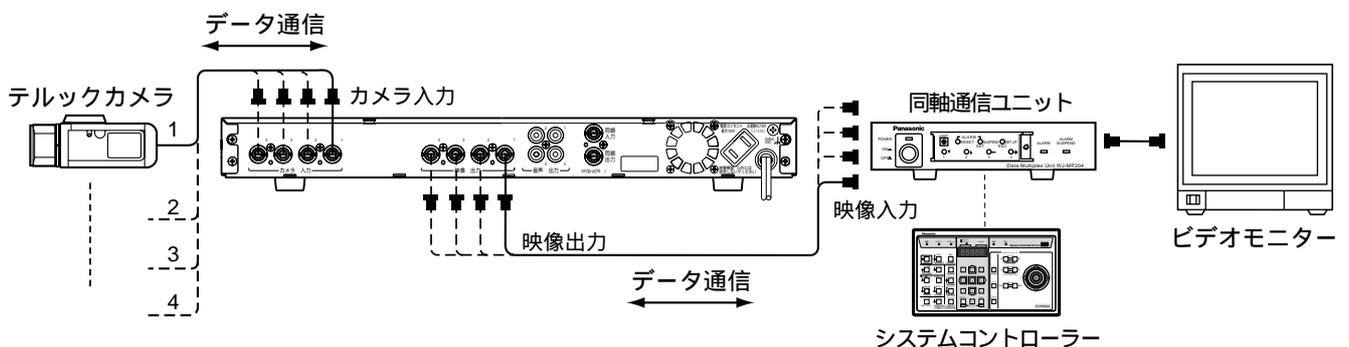
## データ通信機能を持った機器との接続例

詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

### マトリクススイッチャーとの接続例



### 同軸通信ユニットとの接続例

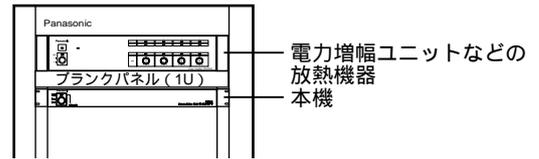


# ラックへの取り付けかた

## ラックについて

本機を取り付けるラックは、次のいずれかをご使用ください。

- スタンダードラック : WU-RS71 (収納ユニット数 29U)
- ロングラック : WU-RL76 (収納ユニット数 41U)
- EIA規格相当品 : EIA19インチ奥行450 mm以上

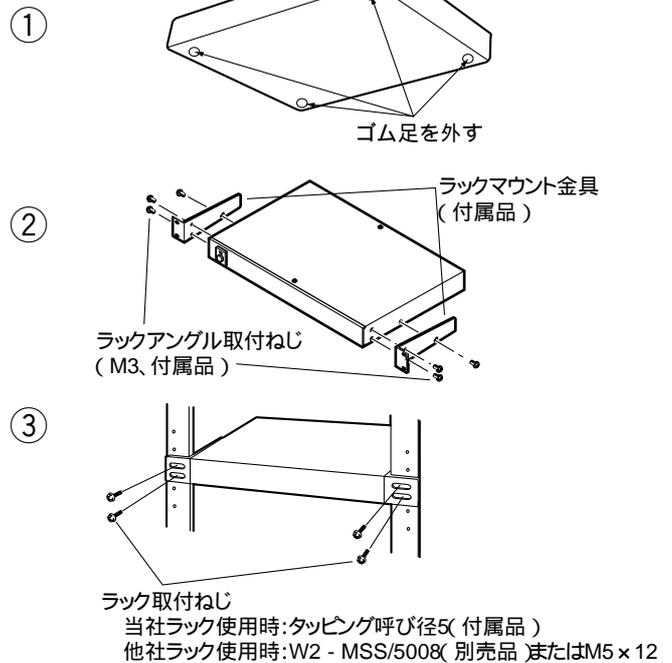


### お願い

- ・本機は電力増幅ユニットなどの発熱する機器より下に設置し、本機1台分以上の間隔をあけてください。
- ・ラック内の温度は、50°C以上にならないようにしてください。
- ・振動の多い場所に設置するときは、本機の後部を補強アングル（現地製作）などでラックに固定してください。
- ・付属のラック取付ねじ（呼び径5タッピング）は、ラックの取付部にねじが切れていない場合にご使用ください。ねじが切れているところに使用すると、ねじ山が壊れることがあります。

## 取り付けかた

- ①本機底面のゴム足4個を外す。  
ゴム足はマイナスドライバーで固定しているねじをゆるめると外れます。
- ②本機にラックマウント金具（付属品）をラックアングル取付ねじ（M3、付属品）で取り付ける。
- ③ラック取付ねじでラックに取り付ける。
  - ・当社製品のラックをご使用になるときは本機付属のラック取付ねじ（呼び径5タッピング）を使います。
  - ・他社製品のラックをご使用の際は別売のラック取付ねじ（W2 - MSS/5008またはM5×12）4本が別途必要です。



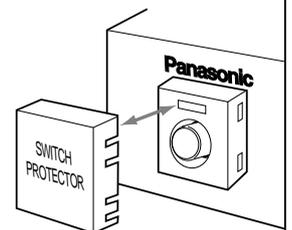
### スイッチプロテクター（付属品）について

スイッチプロテクターを使用すると、誤って本機の電源スイッチを押し「切」の状態になることを防止できます。

ラックに組み込んで、電源を一括で「入/切」して使用する場合は、必ず本機の電源スイッチを「入」の状態にして、スイッチプロテクターを取り付けてください。

お願い：本機の電源スイッチ「入/切」で他の機器の電源「入/切」を連動させるときは、スイッチプロテクターを取り付けしないでください。緊急対応時など、電源スイッチをすぐに操作できなくなります。

電源スイッチが「切」の状態でスイッチプロテクターを取り付けると、電源の「入/切」ができなくなります。



# 仕様

電源	AC100 V 50 / 60 Hz
消費電力	約50 W
電源コンセント	AC100 V 最大130 W
カメラ電源供給方式	定電流重畳伝送方式
カメラ入力	1.0 V [ p-p ] / 75 × 4 ( BNCコネクター )
映像出力	1.0 V [ p-p ] / 75 × 4 ( BNCコネクター )
音声出力	- 10 dBV / 600 × 4 不平衡 ( RCAピンジャック )
同期入力 ( SYNC / VD )	4.0 V [ p-p ] / 75 負極性、またはVS 1.0 V [ p-p ] / 75 ( BNCコネクター )
同期出力	SYNC / VD 4.0 V [ p-p ] / 75 負極性 ( BNCコネクター )
使用温度範囲	- 10° C ~ + 50° C
寸法	420 ( 幅 ) × 44 ( 高さ ) × 350 ( 奥行き ) mm ( ゴム足除く )
質量	約4.0 kg
仕上げ	パネル : AVアイボリー塗装 ( マンセル7.9Y6.8/0.8近似色 ) カバー : AVアイボリー色エリオ鋼板

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書（別添付）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間  
ただし、放熱ファンは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、カメラ駆動ユニットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

**便利メモ** (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 い 上 げ 年 月 日	年	月	日	品番	WV-PS154
販 売 店 名	☎ ( ) -				

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

N1199-0

V8QA5344AN